



令和3年度「船上山スキルアップセミナー①」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和3年5月15日(土) ※日帰り

2 日程

5月15日(土)	
9:30	受付
10:00	出会いのつどい
10:15	主催事業についての説明
11:00	交流レクリエーション
12:00	昼食
13:00	野外イニシアチブゲーム ・ジャイアントシーソー ・カモフラージュ ・サンダーアタック ・UFO キャッチャー
15:00	ニュースポーツ体験 ・ボッチャ ・カローリング
16:00	別れのつどい
16:15	解散



3 ねらい

- ・学生たちが船上山少年自然の家の主催事業「ちっちゃい探検隊」についての理解を深める。
- ・ちっちゃい探検隊へとつなげていくために、少年自然の家の様々な活動プログラムを体験する。
- ・グループでの体験活動を通して、学生同士の親睦を深める。

4 対象 学生ボランティアとして活動することができる大学生

5 参加者数 島根大学9名、鳥取大学1名

II 実施状況

昨年度、中止となったスキルアップセミナー①が今年は様々な制約がある中で開催することができた。

今回は島大生9名、鳥大生1名の参加であった。出会いのつどい後、大学生にそれぞれ自己紹介を行ってもらったが、多くの学生が初対面であったためか、どこかぎこちない様子がみてとれた。

次に過去の「スキルアップセミナー」や「ちっちゃい探検隊」の映像を全員で視聴した。学生たちが夜通して、ちっちゃい探検隊に参



加する子ども達のために、熱い話し合いを重ねている様子が画面越しに伝わってきた。今回のスキルアップセミナーは日帰りでの実施のため、ここまで時間を割くことはできないが、学生達にも十分様子が伝わったのではないかと感じた。

続いて、指導員による交流レクリエーション。1人で行うレクから2人、3人で行うレクを次々に行っていった。途中、チャレンジタイムということで、大学生にも前に立ってレクをしてもらうよう呼びかけた。3名の学生が手を挙げた。レクは教わるよりも、実際に前に立って行う方が遥かに学びが大きい。立候補した大学生は本当に立派だと思う。

午後から、班で野外イニシアチブの活動を行った。ちっちゃい探検隊で実際に行く「UFO キャッチャー」や「サンダーアタック」などを学生達にも体験してもらった。さすが大学生である。班で力を合わせ、次々とゲームをクリアしていった。この頃になると、活動を通して自然と協力したり、会話したりする場面が見られ、学生同士の距離もだいぶ縮まったように思えた。その他、ボッチャやカローリングでの活動でも、冗談を言いながらも前向きなかけ声を聞くことができた。

最後の別れのつどいでは、車座になって一人一人本日の取り組みの感想やちっちゃい探検隊に向けての想いを話してもらった。どの学生からも前向きな感想が聞けて嬉しく思った。

ぜひ、今日の経験をスキルアップ②やちっちゃい探検隊につなげて行ってほしいと思った。



Ⅲ 総括

1 参加者の感想(抜粋)

- ・ 今回行った活動は班で協力するものが多く、実際にやっていると自然と協力したり、助け合いの言葉が出てきたりしました。子ども達が同じ活動を行うときは、まずは自分達が声かけを行い、子ども達の方から助け合いの言葉が出てきやすい雰囲気をつくろうと思いました。
- ・ ちっちゃい探検隊1で、実際に子ども達が体験する活動を行い、指導員さんの工夫(ソーシャルディスタンスを保ちながら活動できるもの)を知ることができ、貴重な学びの場となりました。次回のスキルアップセミナー2では、指導員の方と協力しながら企画を考えていくので、子ども達に楽しいと思ってもらえるような企画・運営を行っていきたいと思います。

2 成果

- ・ 1日だけのタイトな日程ではあったが、レクリエーションやイニシアチブなどの活動を通して、初めて船上山に来た学生同士が少しずつ打ちとけ合っていく様子が見てとれてよかった。
- ・ 昨年度、スキルアップセミナーが実施できなかったが、過去のデータが映像としてしっかりとまとめてあったため、指導員も含め初めてスキルアップに参加する学生もイメージを持つことができた。

3 課題

- ・ 今回ボランティア学生の募集枠がすぐに埋まりありがたく感じた反面、新1年生の参加がなかったのが残念であった。学年バランスよく参加していただけるよう、募集の面で工夫する必要があると感じた。